

低入札価格調査の実施概要

工事名：平川二期農業水利事業 早瀬野ダム管理事務所その他補修工事

調査の対象となった業者名：株式会社西村組

調査項目	内 容
(ア) その価格により入札をした理由	<p>直接工事費は、建築工事各専門業者から見積を徴集するとともに、各専門業者の労務費、手持ち工事の状況、手持ち資材の状況、手持ち機械の状況を勘案し、協力体制を仰げる旨を確認し計上。</p> <p>共通費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費）は、「公共建築工事共通費積算基準」による算出額と「自社過年度実績（同種工事：公共建築工事 9 件）」を比較検討し、過年度実績額（共通費）を上回る金額を計上。</p> <p>上記のことから、安定した現場運営と品質の確保を実現できると判断し、入札額により入札している。</p>
(イ) 契約対象工事付近における手持ち工事の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものが無い）
(ウ) 契約対象工事に関連する手持ち工事の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものが無い）
(エ) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものが無い）
(オ) 手持ち資材の状況	該当なし（契約対象工事で使用する予定の手持ち資材が無い）
(カ) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	各専門業者から材工共の見積を徴集し計上している。入札者と各専門業者の取引実績（年数）は 15 年から 40 年である。
(キ) 手持ち機械数の状況	該当なし（契約対象工事で使用する予定の手持ち機械が無い）
(ク) 労務者の具体的な供給見通し	<p>自社労務者はなし。各専門業者（協力業者）に材工共での発注・施工となる。各専門業者の材工共の見積を積み上げ、直接工事費に計上。労務者は、各専門工事別・職種別に配置し、履行に必要な労務者総員数として 662 人を計画している。</p> <p>入札者と各専門業者の取引実績（年数）は 15 年から 40 年である。</p>
(ケ) 経営内容	東日本建設業保証会社株式会社青森支店に確認したところ、当該入札者は契約保証等の受付について通常の扱いとなる（経営内容に問題なし）旨の回答を得た。
(コ) 建設副産物の搬出他	がれき類、残土に区分し受入れ会社を計画。費用は、専門業者（協力業者）の材工共の見積（撤去・運搬処分）を積み上げ、直接工事費に計上。建設副産物を適切に処分する計画である。
上記(ア)～(コ)までの事情聴取した結果についての調査検討	<p>入札者は、各専門業者から材工共の見積を徴集し直接工事費を積み上げている。直接工事費は、適切に計上していると認められる。</p> <p>共通費用（共通仮設費、現場管理費、一般管理費）は、過年度に受注した同種の公共建築工事 9 件における自社実績（共通費）から試算した額を上回る費用を計上し、安定した現場運営と品質の確保を行うとしていることから、必要額を計上していると認められる。特に現場管理費は、自社の技術者給与手当（配置予定技術者）、保険料、法定福利費等の必要額を計上していることを確認した。</p> <p>以上から、これまでの実績により培った技術と施工能力に基づき意欲を持って入札していること、必要額を計上していること等から、的確な施工、現場の安全管理、下請けへの支払い、必要な保険等の加入、が行われ工事を完成できると認められる。</p>